

令和6年度普及指導活動の外部評価について

1 外部評価の目的

本県の普及指導活動の成果等について、外部委員からの客観的な評価や幅広い意見等を受け、その結果を普及指導活動に適時・的確に反映するとともに、次年度以降の普及指導計画の改善につなげる。

2 評価項目と評価会の開催

各地域振興局・支庁（事務所）農政普及課等において、普及指導計画に基づく普及指導活動の成果等について評価会を開催した。

主な評価項目	評価会の開催	
	場 所	時 期
○普及指導計画に基づく普及指導活動 ・ 普及指導計画の課題、対象の選定 ・ 活動体制・活動方法 ・ 活動の成果 ・ 波及性と今後の対策	各地域振興局・支庁（事務所）農政普及課等 （一部書面開催）	令和7年1月 ～ 令和7年3月

3 外部委員（評価する者）

農業者・地域リーダー、市町村、農業委員会、JAなど、地域農業の動向や農政の展開方法等に対して、十分な理解と知識を有している者を選定（132人）。

4 評価結果の概要等

普及指導計画に基づく普及指導活動（42課題）に関する5つの評価項目について評価を受けた。

評価項目	評価結果(割合：%)		
	適 当	概ね適当	要改善
1 課題の設定	86	14	0
2 対象の選定	76	23	0
3 活動体制・活動方法			
（1）関係機関・団体等との連携	75	24	1
（2）活動の方法、時期、手段	71	29	0
（3）専門的な技術・情報の活用	71	27	1
4 活動の成果			
（1）農業者、地域、産地育成等の効果	56	42	2
（2）指導対象の課題解決への取組	52	47	2
5 活動の波及性と改善			
（1）他課題や他農業者、地域への波及性	59	39	2
（2）今後の対策	55	44	2

※ ラウンドにより、合計が合わない場合がある。

5 参考資料

- ・ 令和6年度 普及指導計画に基づく普及指導活動の外部評価課題一覧
- ・ 令和6年度 普及指導計画に基づく普及指導活動の外部評価結果

令和6年度 普及指導計画に基づく普及指導活動の外部評価課題一覧

※ 42 課題について外部評価を受けた。

所 属 名 ・ 評 価 課 題 名	
鹿児島地域振興局 農林水産部 農政普及課	
3	鹿児島地域を支える担い手の育成 ～女性農業者の育成～
	新たな販路開拓を目指した茶産地の育成
	糖含有珪藻土を活用した土壌還元消毒の技術の普及
鹿児島地域振興局 農林水産部 農政普及課 日置市駐在	
3	日置地域を支える担い手の育成 ～担い手への経営安定支援～
	「根深ねぎ」の各種課題解決による産地振興
	地域の特性を生かした花き(ソリダゴ)の産地づくり
南薩地域振興局 農林水産部 農政普及課	
3	南薩地域の茶業経営の安定とブランド化による稼ぐ力の向上
	南薩地域の特性を生かした稼げる花き産地の育成
	南薩地域の特性を生かした稼げる畜産産地の育成
南薩地域振興局 農林水産部 農政普及課 指宿市十二町駐在	
2	指宿地域を支える担い手の育成
	指宿地域の特色を生かした稼げる野菜産地の育成
北薩地域振興局 農林水産部 農政普及課	
2	魅力ある果樹産地の育成
	持続的で適応力のある茶産地づくり
北薩地域振興局 農林水産部 農政普及課 出水市駐在	
3	サツマイモ基腐病対策の実践
	甘夏類における生理障害軽減対策の確立・普及
	花きの生産安定と経営発展に向けた技術改善支援
北薩地域振興局 農林水産部 農政普及課 さつま町駐在	
2	持続可能な水稻・畑作物産地づくり
	さつま地域の特色を活かした園芸産地の育成
始良・伊佐地域振興局 農林水産部 農政普及課	
3	地域の特性を生かした園芸産地づくり(根深ねぎ)
	新規就農者の確保・定着に向けた支援
	地域水田活用のしくみづくり
始良・伊佐地域振興局 農林水産部 農政普及課 伊佐市駐在(本所と合同開催)	
1	地域の特性を生かした水稻の産地強化

所 属 名 ・ 評 価 課 題 名	
大隅地域振興局 農林水産部 農政普及課	
5	新規就農者の確保・育成普及活動
	さやいんげんの生産安定支援 ー適品種の選定と普及推進ー
	有機栽培茶への取り組みと輸出向け茶生産体制の構築
	産地を担う肉用牛経営体の育成
	サツマイモ基腐病対策によるさつまいもの生産安定
大隅地域振興局 曾於畑地かんがい農業推進センター 農業普及課	
3	プロジェクト活動を通じた青年農業者の育成
	曾於地域における畑かん営農の確立
	複合品目トルコギキョウの導入による新たな花き経営モデルの確立
熊毛支庁 農林水産部 農政普及課	
3	民間企業との連携による農業労働力確保対策の取組
	種子島の特性を生かした野菜の産地づくり
	種子島レザーリーフファンの産地育成
熊毛支庁 屋久島事務所 農林普及課	
2	屋久島を支える担い手の育成 ～果樹新規就農者のサポート体制策定
	持続可能な茶業経営を目指す
大島支庁 農林水産部 農政普及課	
2	新興共販産地「喜界町パッションフルーツ」の挑戦 ～発展の土台づくり～
	奄美地域を支える担い手の育成
大島支庁 徳之島事務所 農業普及課	
2	徳之島における担い手の確保について
	徳之島産ピタヤの産地育成
大島支庁 沖永良部事務所 農業普及課	
3	沖永良部地域を支える担い手の確保・育成（経営体・新規就農）
	稼ぐ力の向上によるばれいしょ産地の育成
	自給飼料の確保を目指したトランスバーラの普及

令和6年度 普及指導計画に基づく普及指導活動の外部評価
委員からの意見提言及び意見に対する改善策等

※ 評価：評価委員132人

【担い手育成関係】

評価項目	主な意見・提言	意見・提言に対する改善策や普及指導計画への反映等
課題の設定	・ 農業の女性の関わりは重要性を増しており、テーマは非常に大事である。 ・ 青年農業者が課題解決を必要としている「さつまいも基腐病」についても、よく活動しており、今後の取組も意欲的である。 ・ 農業経営者が減少する中、担い手確保は喫緊の重要課題。 ・ 農業者自体が地域の現状を知ることが重要。現状をよく調査され実態がよく理解しやすく一見して把握できた。 ・ 次世代をどう育てていくか大変重要な課題である。 ・ 人が少なくなっていく現実を理解した取組で現状維持でも十分な気がします。	・ 今後もプロジェクト活動を通じて高い課題解決能力を持った青年農業者を育成できるよう努める。 ・ 課題解決能力の向上は新規就農者が定着し、農業経営者として成長するために必要である。 - 令和7年度も引き続き果樹若手農家の育成を重点計画取り上げ、計画的な活動を進める。また、担い手育成は積み上げが大事なので、継続して行う。 ・ 数的な向上は困難な部分もあるが質的な向上を目指して支援していく
対象の選定	対象を「担い手」の中でも、新規就農者、認定新規就農者を対象としているが、課題解消を行うためには、新規就農者になる前の人材を対象とすべきではないか。となると、概ね適当とはするものの対象、成果がぶれる。 ・ 今後10年を想定し規模に限らず、地域の核となる人材をどう想定するか検討してほしい ・ 多岐方面に渡る課題であり、対象は適切です。	就農前は相談があつてからの把握になりますが、可能性や掘り起こしも含め、農大生等や就農前人材の情報収集に努めます。 - 関係機関と連携し将来の核となる肉用牛人材の育成を図っている。 ・ 対象を認定農業者、大規模農家を中心としていたが、対象や周知方法を関係機関・団体と検討していく。
活動体制・活動方法	・ 導農業士の利用も考えてはどうか ・ 市町は一般事務職員が多いので指導の際の連携は助かる。 ・ 課題解決の考え方は、農業だけでなく事業を行う上で大切なことなので広げて欲しい。	・ 活動内容に応じて、活用を検討していきたい。 - 引き続き関係機関と連携した取組を進めたい ・ プロジェクト活動の流れは農業以外の課題解決でも応用できる。そのため、農業者が課題解決のサイクルを意識しながら活動できるよう支援手法を検討していく。

評価項目		主な意見・提言	意見・提言に対する改善策や普及指導計画への反映等
活動体制・活動方法	活動の方法、時期、 ----- 専門的な技術・情報の活用	・女性グループと男性グループがもう少し交わる取組もあれば良いと思う。女性が男性を引っ張っていく。 ・専門的な技術・情報の活用について内容がよくわからなかった。 ・具体的な活動成果が知りたい。	新規就農者励ましの会に女性農業経営士の参加誘導をしているが、実践力、発言力のある女性農業経営士の役割が発揮できるようそのような場面づくりを増やしていきたい。 ・引き続き、関係機関と十分な連携をとりながら、普及指導計画においても重点活動として取り組んでいき、具体的成果が多く実現できるよう努めていきたい。
活動の成果	農業者、地域、産地育成等の効果	・活動については、今後も継続していただき成果が広がるようにしてもらいたい。 ・若い人の意識が変わってきた。積極性が出てきた。若い人達の連携・情報交換の場作りが重要と思う。 ・経営発展支援による販売戦略への助言指導をいただき、実際に進めることができて良かった。	新規就農者のほか、振興局ホームページや各種媒体で女性農業者の活動をPRするとともに農業者組織等への役職について提言できる女性農業者リーダー育成を図りたい。 ・総会や研修の後には、情報交換会を開催し、生産者同士の連携や情報交換の場を提供する。 ・来年度も、スペシャリスト派遣等を行いながら、法人化育成等に向けて取り組んでいく。
	指導対象の課題解決への取組	・農業者の育成に大きな効果があり、農家の経営意識改善に寄与していると思う。	・引き続き、普及計画に基づいて農家自身が経営状況を正確に把握し、経営の改善計画や、見直しを円滑に行えるような支援や、モデル農家育成・法人化など、経営発展のための支援を継続していきたい。
活動の波及性と改善	他農業者や地域への波及性	・女性の活躍が、非常に解る課題であり、新規の方を先輩女性経営士が育てていくのが、力強く感じた。自分の経営が第1ではあるが、引き続き6次産業化への取組を頑張りたいです。 ・女性農業者に必要な知識の提供をサポートしてくださっていることに感謝です。(新規就農)担い手→女性組織→女性農業経営士になっていけるよう、又、鹿児島県の農業を盛り上げていく仲間が増えていくとうれしいです。 ・女性は前向きに活動するのでいい活動ができますね。商品化する過程がわかって良かったです。	・令和7年度も引き続き担い手育成の重点活動に位置づけ、女性農業者の発展段階に応じた多様な能力向上を図り、女性農業者の主体的な経営参画、社会参画支援を継続したい。 ・令和6年度で取り組んだ乾燥野菜の加工技術向上と商品化を支援したい。

評価項目		主な意見・提言	意見・提言に対する改善策や普及指導計画への反映等
活動の波及性と改善	他農業者や地域への波及性	・ 多様な担い手の確保に向け、女性農業者の育成、新たな視点での経営参加など今後も継続していただきたい。 ・ 地域での仲間作りはなかなかいないということが課題だと言うことが分かった。 ・ 女性の行動力を上手く引き出されている。農業者以外の人たちともつながりがあることは素晴らしいと。 ・ 女性農業者を増やしていくための支援を今後も継続していただきたい。 ・ 地域の農業を維持していく上で女性の就農は今後重要になってくると思われる。経営支援など女性農業者の育成は大事なことを考える。普及活動の内容も良いのではないかと考える。今後も継続していてもらいたい。	女性農業経営士と就農後間もない女性農業者との交流機会を確保し、他農業者や地域への波及性を効果的に行う取組を工夫する。
	今後の対策	新規就農者の確保のためにいろいろな支援や資金があることを知った。たくさんの方々が動いている中で定着して農業を続けてもらえるまでの情報交換などはとても大切になるなと感じた。とても分かりやすく参考になった。 最重要課題ではあるが、就農者の生活が成り立っているか、借金漬けになっていないかが一番気になる ・ 一般農家も参加できれば、もっと多くの参加・利用者が増えると思う。 ・ これから波及すると思う。 ○新規就農者がお互い仲間意識を持って、産地育成の一員であると自覚できる体制作りが望まれる ・ 年次別経営改善の横ばいがあるが、資材高騰がある中、実績が出しにくかったのかと思う。	・ 就農までの経緯や環境、農業・経営技術等の習熟度は異なるので、全体的な支援と並行して、個々に対応した支援を進める必要があると考えています。それぞれの役割が生かせるよう今後も関係者・各機関・団体との連携を密にして活動を展開させていきたいとします。 ・ 新規就農者の生活が成り立つことは就農計画の前提なので、特に資金借入などは慎重に生活費も含めた長中期見通を考慮した指導に心がけたい ・ 対象を認定農業者、大規模農家を中心としていたが、対象や周知方法に関係機関・団体と検討していく。 ・ 現段階では、果樹の新規就農者のニーズに対応した研修プログラムであるが、今後、果樹以外の新規就農者にも波及できるよう体制構築を進める。 ・ 資材高騰などで収益性の向上が厳しい情勢にある中、あるべき生産力を維持できるよう継続的な支援をしていく。

【産地育成関係】

評価項目		主な意見・提言	意見・提言に対する改善策や普及指導計画への反映等
課題の設定		・茶の課題，問題点をわかりやすく問題解決に向けて動いていただきありがたいです。 ・お茶に限らず有機農業の重要性が増しており，また，外国向けの販路拡大も大事である。 ・時代に適応した課題となっている。 ・現在導入する農家としては適当であるが，地域全体としては判断できない。	・引き続き生産者と関係機関が連携して課題解決が出来るよう取組を進めたい。 ・トルコギキョウは経営の複合化等による経営の多様化に柔軟に対応できる有用な品目と考える。 ・花き産地の維持・拡大を念頭に，課題整理を繰り返しながら，普及活動を展開する。
対象の選定		ブランド化の実施しやすさとしての対象は良いが、結果生産量が足を引っ張ると考えるので、振興局単位でなく生産の質がそろった地域をまとめて県、経済連単位で取組む選択をしてはどうか。	隣接し地域特性の近い地区同士であっても、組織が異なる場合もあるため、県、経済連等の関係機関と連携した取組を検討していきたい。
活動体制	関係機関・団体等との連携	・県，市，ＪＡの連携は農家にとって心強いです。 ・ＪＡと選荷方法にずれがある。 ・市町村との取組内容が不明であった ・市と足並みをそろえて明確なビジョンを持つことは大切だと思った。 ・男性ばかりでなく女性も参加しやすい研修会の開催 ・夫婦連名での案内文はどうか？ ・勉強会，情報交換は女性にも情報共有 ・女性農業者を中心とした組織の活動が少し薄かったように感じました	・関係機関間の連携は引き続き重要と考えていることから，次年度以降も継続して勉強会などの取組も行いたい。 ・ＪＡの選花基準と経済連の出荷許容範囲とのすり合わせのため技術部会で検討を進める。 ・市町村は，経営安定のための補助事業活用等を中心に農家支援を行っており，関係機関と農家の課題を共有して改善指導に取り組んでいる。 ・後も農家及び関係機関団体と連携しながら地域課題の解決と普及性を考慮し活動展開を図っていきたい。 ・女性を対象とした活動は重要と考えていることから，女性部の支援も進めてまいりたい。 ・女性農業者は，今年度組織を立ち上げ本格的に活動，支援に取り組んだものである。来年度以降重点的に支援できるよう，新たに普及指導計画の重点課題の対象とし，継続した支援に取り組む。
	活動の方法，時期		

評価項目		主な意見・提言	意見・提言に対する改善策や普及指導計画への反映等
活動方法	活動の方法、時期	農業者へのさらなる周知，情報提供が必要である。	来年度の普及指導計画においても研修会等を開催し周知，情報提供を行うこととしている。
	専門的な技術・情報の活用	・情報誌を20回提供しているとのことですが，どの時期に提供しているのか教えてほしい。	・情報誌は不定期での発行となっているが，生産者の必要な時期に必要な情報を意識している。
活動の成果	農業者、地域、産地育成等の効果	・スピード感のある対応をしていただきありがとうございます。課題をわかりやすく説明，対応していただいているので，松元の生産者，気持ちの変化があり助かっています。イオンでの販売に結びつけるまでの過程も勉強でき，皆さん勉強になっております。	・引き続き生産者にとって希望の持てる産業になるよう，生産者と関係機関が連携して取組を進めたいと考え
		・WCSを使用することで，酪農家のコスト負担がどれくらい減るかや，乳牛への影響等を入れるべきでは？	・今回の取組におけるWCS用稲は，肉用牛生産農家や経済連への供給であるが，管内の一部の酪農家で利用事例もある。次年度取り組むWCS給与推進においては，ご指摘の内容を示して利用推進する予定である。
		・事例集等のとりまとめなどはよい提案であった。	・事例集は，次年度以降も継続して作成・更新し，関係者で情報の共有と蓄積を進める。
	指導対象の課題解決への取組	・対象が143工場で，19工場（20%）がシステムを活用という結果は少し低くないか？来年度以降具体的に何割までもっていきたいのか？	・生産者の高齢化により初期設定が進まなかったことや他アプリ等の活用もあり，活用率が低迷している状況である。本連携システムは南九州市と地域振興事業で開発したものであるため，南九州市を中心に次年度以降も座談会等を通じ，さらなる波及を進めたい。

評価項目		主な意見・提言	意見・提言に対する改善策や普及指導計画への反映等
活動の波及性と改善	他農業者や地域への波及性	・うまくPRしていると感じた。有機・米国輸出と販路拡大への取組に期待を感じた。 ・今後の技術実証の内容を説明して欲しかった ・有機栽培に取り組む農業者は増加しているので、安定収量確保対策を継続して行って欲しい ・若手生産者が肥料高騰対策も考え実行して良いと思います ・若い担い手には波及効果が高い。	・今後の技術実証は、普及計画の「有機栽培茶の生産安定」で有機茶生産技術やてん茶生産技術等に取り組み、安定した収量・品質確保につなげたい。 ・今後も若手生産者組織で情勢に対応した課題解決活動に取り組む。
	今後の対策	・新たな取り組み、高温対策など課題はたくさんあると思いますが、これからも生産者の方々と密に連絡を取りながら、根深ねきにも若手の生産者が増えていってもらえたらいいなと思いました。 ・専門的な施設や技術が必要と思うが、少ない面積で収量が多く高収益な作物として、まだ、まだ進めるべきと思う。 ・共販農家以外の周知が重要である。 ・地域のメディア等での情報発信は、腐敗苗対策の波及効果が大いと思う。	・夏秋期の高温が常態化しつつあり、従来の対応では安定生産が困難になっている。耐暑性品種も限界を感じており、地温を物理的に抑える等の新たな産地化に向けた取り組みを模索する必要を感じ、その効果を示すための実証を行っていく ・しまあかりについては、共販農家以外への周知も行っていきたい。